

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成20年8月号

編 集 大井 利夫  
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3  
社団法人 日本病院会 通信教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.hospital.or.jp>  
受付時間 9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月1日  
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)  
郵便振替 00190-5-396045  
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

## 「第34回日本診療録管理学会学術大会について」

有 賀 徹

昭和大学 医学部救急医学 教授  
昭和大学病院 副院長・診療録管理室長  
第34回日本診療録管理学会 学術大会長  
東京会場 基礎課程(臨床医学各論Ⅳ) 講師

この度、8月21日と22日の両日にわたり第34回日本診療録管理学会学術大会を昭和大学キャンパス(東京都品川区旗の台)内にて開催させて頂くこととなりました。ここでは診療情報管理のために通信教育を受講されている読者の皆様様に御挨拶と御紹介を申し上げたく思います。と、申しながらも、本学術大会を与る名誉ある立場を賜りましたので、この間は正にその重責に身の引き締まる思いでことに当たって参りました。これが実感です。

さて、実は日本病院会山本会長から、ある日学術大会開催についてのお電話を頂きました。私自身はすでに大きな催しを経験してはありましたが、やはりこの学術大会となりますとやや趣も異なります。そこで「学内でやろう」と、学生にとっては夏休みのこの期間での開催ということとなり、その後準備に掛かってきたというわけです。

今回の総合的なテーマは「医療における社会状況と診療録管理」です。それは、社会に向かって我々の行っていることを説明しようとすれば、その方法は診療に関することを通じてであって、その中心に診療録そのものや診療情報の管理があるという認識によります。この中核たる道具を用いて、より組織的かつ体系的に社会への説明を行うことが必要であると強く思います。というわけで、テーマと同じ演題名での基調講演を賜ります。また、診療録の記載が医学的かつ倫理的に正しい医療を展開する基本であるという観点で会長講演を行います。教育講演「ICD11への改定」、シンポジウム「診療録と医療者の教育」、同じく「DPCと診療録管理」、ワークショップ「臨床研究」についてそれぞれを企画しましたのも、上記の思いなどからです。そして「特別企画」では、診療録の記載こそが我々医療者にとって究極の手段であるという社会的な意義を論じようとするものです。

そしてまた、当然のことながら、一般演題のそれぞれも、従来から今後に引き続く、診療情報管理そのもの、診療情報管理から派生するなどの諸問題を幅広く扱っています。病院の各部門、各部署で丁度今悩んでいることへのヒントになろうかというものが多々あります。本誌読者の受講生にとって大いに勉強できるはずです。

以上のとおりです。皆様には奮って御参加下さいますことをここにお薦めします。是非一緒に勉強しましょう。